

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [民主的共同社会システム](#) | [哲学的基礎と自由について](#) ①
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

民主的共同社会システム 哲学的基礎と自由について ①

思想・考え方は、理論的な体系になっていなければなりません。その基本は認識論・存在論といった哲学的な基礎がまずあり、その上に歴史理論、更にその上に経済理論、そして政治理論や実践理論が全体的に統一した内容になっている必要があります。

民主的共同社会システムの哲学的基礎について捉えます。

1. 批判的合理主義

民主的共同社会システム理論は、「仮説的実在論」の立場に立ちますが、ここでは「民主的共同社会システム」の哲学的な基礎を「批判的合理主義」と考え、まずは「批判的合理主義」について述べてみたいと思います。

「批判的合理主義」とは、その基礎を『批判精神』と「合理主義思想」におく、**ソクラテス・カント・カール・ポパー**の流れを汲む西欧の合理主義思想のことですが、その理論的特徴は、私達の知識に関する考え方であり、その基本は「無知の知」にあります。

① 「無知の知」

私たちは、基本的に実在するこの世界のことをよく知りません。宇宙のことはもちろん、今住んでいる地球のこともその地球上に生息している生物のことも全てを知っているわけではありませんし、第一、私達人間自身、自分のことも実はあまりよく知らないのです。つまり私たちはこの世界のことに関しては「無知」なのです。私たちは「無知」なのですが、その知識をより大きくしていくことは出来ます。それを「知の成長」と言います。知識をどんどん大きくしていくことは出来ますが、その知識が大きくなっていくと、無知の世界は狭くなっていきそうですが、そうではなく、無知の世界はさらに広がっていき、知識が広がれば広がるほど無知の世界は大きくなっていくのです。私たちの知識はごく限られたわずかな知識です。そのような限られた知識を基にして自分の理論が絶対に正しいとはとても言えません。それを自覚しているのが「無知の知」です。

② 問題解決の基本は「Trial and Error」

私たちの理論の出発点は、今までの知識では解決できない「問題」(P)から出発します。次にその問題を解決するための提案をします。それをTT(テンタティブ・セオリー)と言います。テンタティブとは暫定的という意味です。問題を解決するための暫定的な提案、それが私たちが言う理論で、「仮説」とも言います。仮説を立てると次には、その仮説に対して反対の証拠付けつけます。それを「反証」といい、EE(エラー・エネミネーション)と言います。ここがこれまでの『ベーコン的科学的理論』と違う点です。大切なことは、自分たちの「仮説」の正しさを実証するのではなく、「反証」する態度・方法なのです。このような反証可能性のある理論の提示こそ科学的態度であるとアインシュタインは実際に示しました。このP-TT-EE-P-TT-EE-P・・・の図式こそ『科学的態度とポパー』は呼びました。問題が起きたら、その問題を解決するための提案をし、その提案を反証して当面の理論として持ち、また問題が持ち上がったら問題解決のための提案をし、反証していく。これが私たちの基本である「Trial and Error」(試行錯誤)の方法です。

[哲学的基礎と自由について②](#) →

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.